

# 環境経営レポート

## 2023年度

<活動期間>

2023年10月1日～2024年9月30日



株式会社 弘進

第2版

発行：2024年10月22日

改定：2024年10月29日

## 《目次》

1. 主な事業内容紹介	・・・ P2
2. 組織の概要及び登録範囲	
3. 会社紹介	・・・ P3
4. 環境経営方針	・・・ P4
5. 実施体制	・・・ P5
6. 環境経営目標（中期目標）	・・・ P6
7. 環境経営目標（単年度）と 環境経営計画、その評価	・・・ P7
・ 本社	
・ 相模工場	
・ 高山工場、高山第2工場	
・ (株)弘進 全体	
8. 環境関連法規等の取りまとめ、 遵守状況	・・・ P11
9. 代表者による評価と見直しの結果	・・・ P12
10. 活動紹介	・・・ P13



<改訂履歴>

2024/10/22 初版発行

2024/10/29 審査での指摘修正

### 《昨年度からの変化点》

- ・今年度より作業時間（勤務時間）をベースとした原単位評価とする為、環境経営目標の見直しを行ないました。

### 《SDGsへの取り組み》

- ・間接的ではありますがエコアクション21を通じてSDGsにも取り組んでいます。

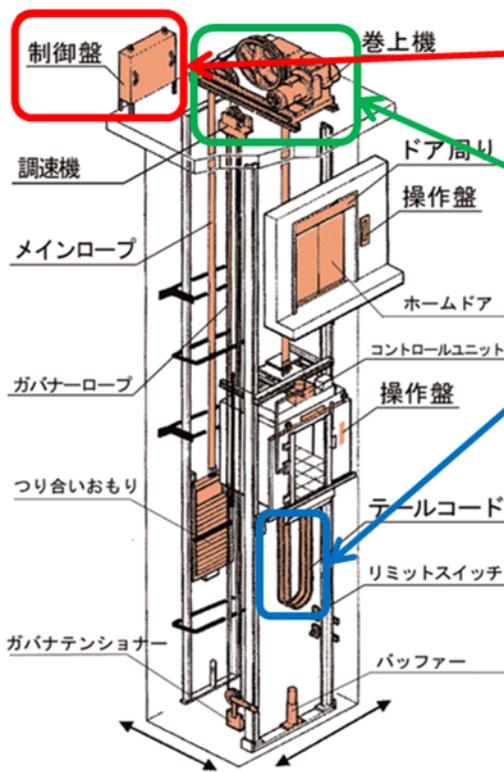
#### 当社の活動と関係の強い目標

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# 1. 主な事業内容紹介

## エレベーター用ハーネスの製造



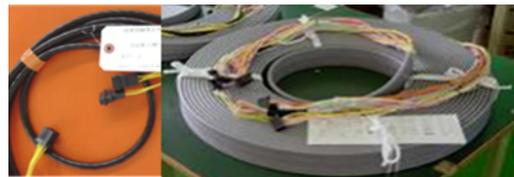
**盤内ハーネス**  
基板コネクタなどを繋ぐ細かいハーネス。

**動力ケーブル**  
かごを巻き上げる為の動力用ハーネス。  
高電圧が掛る為、太い電線が多い。

**制御ケーブル**  
かごと連動して動くハーネス。

**その他配線**  
主に機器同士をつなぐハーネス。

- ・高層、高速化していくエレベーターに対応すべく、電力、信号を各機器へ伝えるハーネスを製造しています。
- ・新設、改修に必要なハーネスを製造しています。



## エスカレーター用ハーネスの製造



- ・エレベーターと異なり、加減速や階床の管理が不要な為、シンプルな構造ではありますが三菱電機(株)様のスパイラルエスカレーターや新設、改修に必要とされるハーネスを製造しています。

# 2. 組織の概要及び登録範囲

### 《組織の概要》

<会社名> 株式会社 弘進  
<創立> 1957年10月1日  
<代表者> 坂口 一 (代表取締役)

<資本金> 7,920万円  
<従業員数> 87名 (9/30現在)

### 《EA21代表者》

田屋 健仁 (取締役営業部長)

### 《EA21対応窓口》

(株)弘進 環境事務局  
小森 俊和 (環境管理責任者：高山工場所属)  
TEL：0577-62-8955 FAX：0577-35-1591

2010年4月より全組織・全活動を対象とした取組を行っています。

## 3. 会社紹介

### 《国内拠点》



#### (株)弘進 本社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-3-6  
TEL：03-6420-0215 FAX：03-6420-0216

<主な事業内容>

電子部品の調達及び輸出業務

#### (株)弘進 相模工場

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-4-11  
TEL：042-774-0753 FAX：042-774-6500

<主な事業内容>

エレベーター用ハーネスの製造



#### (株)弘進 高山工場・高山第2工場

高山工場

〒506-0057 岐阜県高山市匠ヶ丘201

高山第2工場

〒506-0057 岐阜県高山市匠ヶ丘1-75

TEL：0577-62-8955 FAX：0577-35-1255

<主な事業内容>

エレベーターエスカレーター用ハーネスの製造

**\*高山工場、高山第2工場は一括管理とします。**

### 《海外拠点》



#### (株)弘進 タイ工場

(タイ国)

HIDA AYUTTHAYA THAILAND.CO.LTD

Rojana Industrial Park(Ayutthaya)

**\* EA21登録対象外です。**

### 《協力会社》

#### 山形工場 (有限会社 サニー電子)

〒999-5102 山形県新庄市大字萩野163番地の1



#### 三澤工場 (株式会社 三澤)

〒194-0036 東京都町田市木曾東3-22-17



### 《主な納入先》

- ・三菱電機ビルソリューションズ株式会社
- ・フジテック株式会社
- ・パナソニックホームエレベーター株式会社
- ・日本オーチス・エレベーター株式会社
- ・Slam-Hitachi Elevator Co.Ltd.

## 4. 環境経営方針

### (株)弘進 環境経営方針

#### <基本理念>

株式会社 弘進（以下「当社」という）は、全社員がお客様に喜んでいただける製品の製造に携わる地球市民の一員として、企業活動のあらゆる面において、地球環境の保全に配慮して行動し、真に豊かな社会の実現を目指して積極的に環境保全活動を未来に継続するよう環境経営方針を下記の通り定めます。

#### <行動指針>

1. 事業を取り巻く状況を考慮して当社の主要製品である、ハーネスの製造が環境に与える影響を的確に捉え、全員で環境保全活動に取り組み、継続的な改善、向上を図ります。

- ・ 短納期化や受注量の変動に対応する為、生産性の向上を図ることで電力や化石燃料などの固定エネルギーの削減に取り組みます。
- ・ 品質の向上に努め、手直しによる部材の廃棄を抑制します。
- ・ 在庫量の適正化に努め、劣化による部材の廃棄を抑制します。
- ・ 不要な印刷を避け、ペーパーレス化による紙使用量の削減に取り組みます。
- ・ 設備のメンテナンスにより故障などによる無駄な部品の廃棄を抑制します。
- ・ 環境に配慮した製品の使用、購入を進めます。（グリーン購入）
- ・ 設備導入時には生産性の高い設備や環境負荷の少ない設備の導入を検討します。

2. 当社の全ての事業において、環境関連法規や規則、その他の要求事項を遵守します。

3. 関係各庁や地域社会とのコミュニケーションを図り、協調して環境保全を推進します。

4. 全社員へ環境経営方針の周知を行い、方針に基づき環境教育や社内活動を行います。

5. この環境経営方針は外部からの求めに応じ公開します。

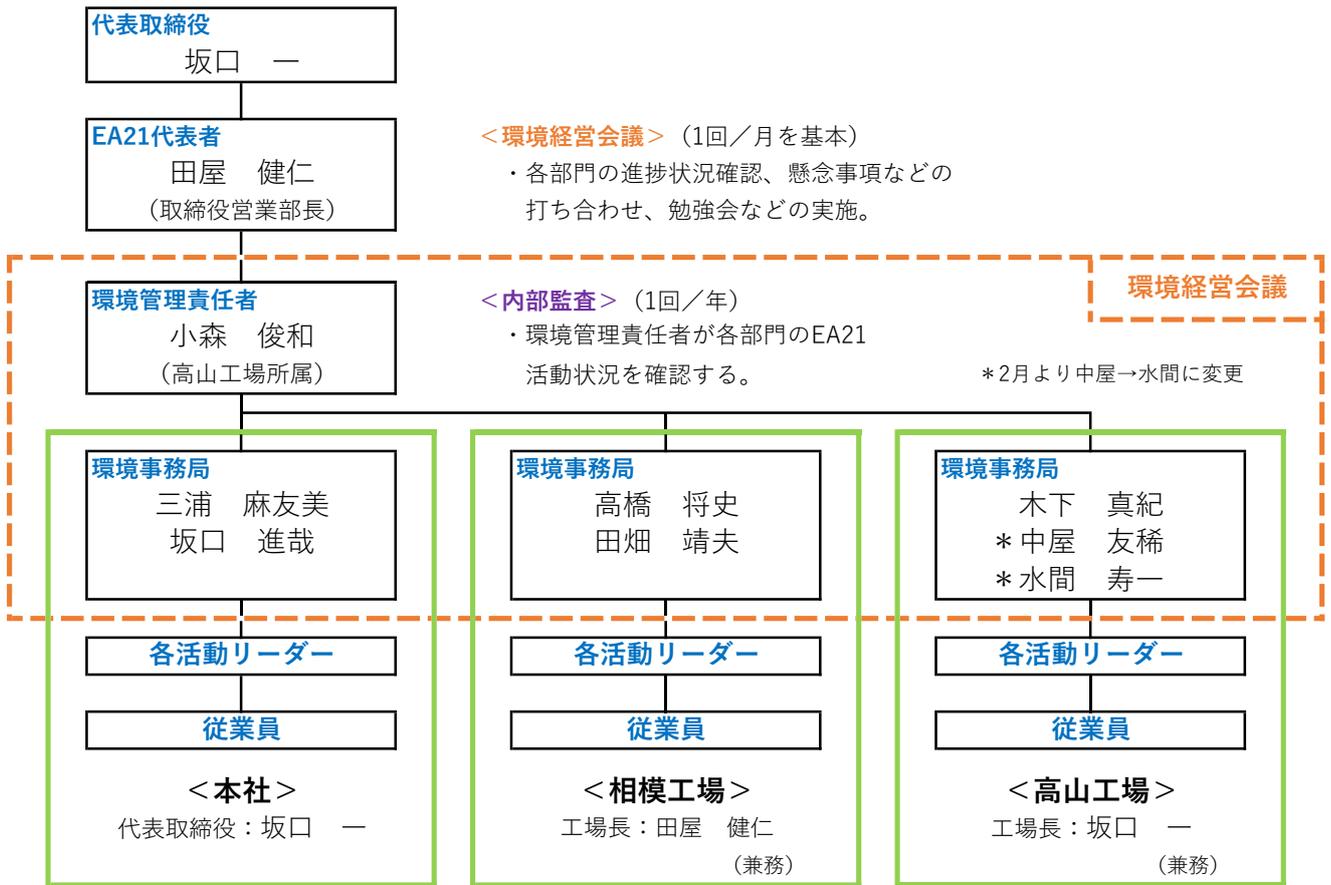
制定日 2018年 7月18日

改訂日 2021年 1月 1日

株式会社 弘進

代表取締役 坂口 一

## 5. 実施体制



### 《役割及び責任》

#### 1. EA21代表者

・・・取締役より選出

- ・経営における課題とチャンスを確認し、環境経営方針の策定と改訂を実施。
- ・環境経営システムに必要な資源（人、設備、費用など）の準備、承認。
- ・各活動報告に対する評価、見直し指示、承認。
- ・環境会議の開催指示。

#### 2. 環境管理責任者 【EA21外部窓口】

・・・代表者が任命

- ・環境経営システムの構築、運用及び管理。 ・活動状況をEA21代表者に報告。
- ・環境経営会議の進行。 ・審査対応責任者。（審査書類作成、審査員との連絡など）
- ・環境関連法規等の最終確認。 ・環境教育の指示。 ・内部監査の実施。
- ・問題発生時の水平展開などの各部門との調整。

#### 3. 環境事務局

・・・各部門にて選出

- ・環境経営計画の作成、実施、評価、改善。 ・各活動の実施フォロー及び記録作成。
- ・環境負荷実績の確認、評価、見直し。 ・環境管理責任者への報告
- ・環境関連法規等遵守状況の確認。 ・環境教育（従業員向け）の実施。
- ・現地審査対応。 ・手順書の見直し、改訂。

#### 4. 各活動リーダー

・・・活動項目毎、各部門にて選出

- ・日常管理項目実施状況の確認、評価、環境事務局への報告。
- ・実施スケジュールの打ち合わせ、実施、評価、改善、環境事務局への報告。

#### 5. 従業員

- ・環境経営方針を理解し各活動に対して積極的に参加する。
- ・決められた手順、ルールの遵守、活動の実施。
- ・改善案、意見などを環境事務局、各活動リーダーに報告。

## 6. 環境経営目標（中期目標）

《数値目標》 \* 作業時間をベースとした原単位での評価とします。

項目	部門	基準値 (2022年度実績)		目標値			
		総量	原単位	2023年度	2024年度	2025年度	
二酸化炭素排出量 kg-CO2 : kg-CO2/h	維持	全社	161,426	0.998	0.998	0.998	0.998
		本社	5,788	0.931	0.931	0.931	0.931
		相模	76,490	1.156	1.156	1.156	1.156
		高山	79,148	0.886	0.886	0.886	0.886
電力使用量 kwh : kwh/h	維持	全社	229,633	1.422	1.422	1.422	1.422
		本社	9,305	1.497	1.497	1.497	1.497
		相模	96,983	1.471	1.471	1.471	1.471
		高山	123,345	1.380	1.380	1.380	1.380
ガソリン使用量 ℓ : ℓ/h	維持	全社	2,152.02	0.013	0.013	0.013	0.013
		本社	641.82	0.103	0.103	0.103	0.103
		相模	541.19	0.008	0.008	0.008	0.008
		高山	969.01	0.011	0.011	0.011	0.011
軽油使用量 (納品トラック用) ℓ : ℓ/h	維持	全社	12,864.57	0.083	0.083	0.083	0.083
		相模	10,639.60	0.161	0.161	0.161	0.161
		高山	2,224.97	0.025	0.025	0.025	0.025
灯油使用量 (冬期暖房のみ) ℓ : ℓ/h	維持	全社	4,461	0.029	0.029	0.029	0.029
		相模	1,196	0.018	0.018	0.018	0.018
		高山	3,265	0.037	0.037	0.037	0.037
一般廃棄物排出量 kg : kg/h	維持	全社	6,968	0.043	0.043	0.043	0.043
		本社	300	0.048	0.048	0.048	0.048
		相模	2,333	0.035	0.035	0.035	0.035
		高山	4,335	0.049	0.049	0.049	0.049
紙使用量 枚 : 枚/h	維持	全社	517,232	3.204	3.204	3.204	3.204
		本社	15,814	2.544	2.544	2.544	2.544
		相模	239,542	3.633	3.633	3.633	3.633
		高山	261,876	2.932	2.932	2.932	2.932
産業廃棄物排出量 kg : kg/h	維持	全社	10,195	0.066	0.066	0.066	0.066
		相模	8,855	0.134	0.134	0.134	0.134
		高山	1,340	0.015	0.015	0.015	0.015
水使用量 (総排水量) m <sup>3</sup> : m <sup>3</sup> /h	維持	全社	940	0.006	0.006	0.006	0.006
		本社	133	0.021	0.021	0.021	0.021
		相模	258	0.004	0.004	0.004	0.004
		高山	549	0.006	0.006	0.006	0.006

\* 化学物質の使用はありません。

### <各種係数>

電力 : 0.455kg-CO2(東京電力) : 本社、相模 0.511kg-CO2(新出光) : 高山	電気事業者別排出係数（環境省、経済産業省）より調整後排出係数 2018年実績
ガソリン : 2.32kg-CO2/ℓ 軽油 : 2.58kg-CO2/ℓ 灯油 : 2.49kg-CO2/ℓ	エコアクション21ガイドライン2017年版 別表 環境への負荷の自己チェック表 ver.1.1より

### <注意>

\* 現状は維持目標として管理し、2022年度～2024年度の数値の変動を確認して維持目標及び削減目標の振り分け、数値の見直しを行ないます。

## 7. 環境経営目標(単年度)と環境経営計画、その評価

### 《本社の環境経営目標及び環境経営計画、その評価》

#### 《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値 (総量)	参考評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO2/h	0.931	1.011	5,882	×
電力使用量	kWh/h	1.497	1.510	8,878	×
ガソリン使用量	ℓ/h	0.103	0.128	794	×
一般廃棄物排出量	kg/h	0.048	0.052	325	×
紙使用量	枚/h	2.544	2.643	16,428	×
水使用量	m <sup>3</sup> /h	0.021	0.012	76	○

#### 《その他活動報告》

##### 1. 社会貢献活動

- ・会社近隣の清掃活動実施。

##### 2. 内部監査

- ・問題ありません。

##### 3. 緊急事態対応教育

- ・避難訓練の実施。

#### 《環境経営計画及び評価》

##### 1. 二酸化炭素排出量の削減

###### ①電力使用量の削減

###### <施策>

- ・勤務時間外のメインLED照明の使用を1/3にする。
- ・勤務時間外は不要なコンセントプラグを抜く。

###### <評価> 坂口 (進)

- ・事務所という環境下で来客対応が多く、電気の使用が多くなりました。基本的な節電について意識向上を目標に今後も活動していきます。

###### ②化石燃料(ガソリン)使用量の削減

###### <施策> ・エコドライブ継続

- ・効率的な車運用 (アイドリングストップ、走行ルート検討等)
- ・PHEV車の走行距離確認及び充電漏れ防止

###### <評価> 坂口 (進)

- ・仕事の波の応じて社用車の使用頻度が異なります。
- ・省エネ運転、電気を使用した運転を心掛けると共に可能な公共交通機関の利用も行ないます。

##### 2. 廃棄物排出量の削減

###### ①一般廃棄物排出量の削減

###### <施策>

- ・個人廃棄物の持ち込み禁止
- ・電子ボード導入使用により掲示物での印刷物削減

###### <評価> 坂口 (進)

- ・個人廃棄物の持ち込みを禁止、不要な印刷物を削減する事で減少しています。

###### ②水使用量の削減

###### <施策>

- ・節水の励行
- ・POP貼り出しによる意識付け

###### <評価> 三浦

- ・来客時のお茶出しが主な要因となりますが基本的な節水については問題なく出来ています。

##### 4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

###### <施策>

- ・まとめ納品による納品頻度削減 (現状維持)

###### <評価> 田屋

- ・まとめ納品を励行を継続しており現状を維持しています

##### 5. グリーン購入

###### <施策>

- ・現在使用しているエコ商品の継続利用と共に新たなエコ商品の導入を模索します。

###### <評価> 三浦

- ・これまで通りエコ商品を優先した使用を継続出来ています。

#### 《本年度総評及び次年度の計画》

環境事務局：三浦 麻友美

- ・本社は他部門 (工場) とは異なる事務所という環境での取り組みであり、主に来客や出張の頻度などに環境負荷が左右され負荷が大きくなっております。また、4名という少人数での業務であり、日常の注意事項に関しては問題なく実施されていると感じます。日常の管理が主となりますが引き続き継続していきます。

《相模工場の環境経営目標及び環境経営計画、その評価》

《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値 (総量)	参考評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2/h	1.156	1.099	71,820 ○
電力使用量	kWh/h	1.471	1.403	92,499 ○
ガソリン使用量	ℓ/h	0.008	0.008	506 ○
軽油使用量	ℓ/h	0.161	0.154	10,127 ○
灯油使用量	ℓ/h	0.018	0.015	977 ○
一般廃棄物排出量	kg/h	0.035	0.032	2,124 ○
紙使用量	枚/h	3.633	3.105	204,679 ○
産業廃棄物排出量	kg/h	0.134	0.121	7,985 ○
水使用量	m <sup>3</sup> /h	0.004	0.004	240 ○

《その他活動報告》

1. 社会貢献活動
  - ・会社周辺の清掃実施。
2. 内部監査
  - ・問題ありませんでした
3. 緊急事態対応訓練
  - ・避難訓練の実施。

《環境経営計画及び評価》

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

＜施策＞

- ・電気の消し忘れが起きないように、朝礼等で従業員に注意喚起

＜評価＞ 吉住・矢部・武田

- ・1度エアコンの消し忘れが発生しましたが、朝礼等での注意喚起、皆の節電意識により目標を達成できました。

②化石燃料(ガソリン,軽油、灯油)使用量の削減

＜施策＞

- ・適切な走行ルートの検討
- ・車間距離にゆとりを持って加速、減速の少ない運転をする。
- ・無駄なアイドリングはしない。
- ・毎朝、乗車前の車体・タイヤの点検、整備

＜評価＞ 土田・清水(陽)・星野

- ・渋滞等を考慮して長時間運転にならないような運転とアイドリングストップなど環境への配慮も出来ております。

2. 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物排出量の削減

＜施策＞

- ・分別の徹底
- ・裏紙・梱包材の再利用の励行

＜評価＞ 及川・関・長澤

- ・分別や再利用の意識もしっかりしており、問題ありませんでした。

②産業廃棄物排出量の削減

＜施策＞

- ・電線の再利用の励行
- ・分別の徹底

＜評価＞ 中嶋・増元

- ・分別の意識も出来ており問題ありませんでした。

3. 水使用量の削減

＜施策＞

- ・朝礼等で日常的な節水の意識付け

＜評価＞ 佐藤・川野・八木

- ・一年通して水道の閉め忘れもなく節水も意識出来てました。

4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

＜施策＞

- ・掲示物コーナー(新聞の記事・資料)を作成し、意識付け
- ・新入社員に環境教育・指導

＜評価＞ 田畑・高橋(将)

- ・地球温暖化や環境問題について資料作成し周知できました。

5. グリーン購入

＜施策＞

- ・エコ商品への切替購入を・実施

＜評価＞ 齋藤

- ・これまで通りエコ商品の使用を継続します。

《本年度総評及び次年度の計画》

環境事務局：高橋 将史

- ・夏季エアコンの消し忘れがありました。朝礼等で注意喚起後、消し忘れなど特になく廃棄物についても分別、再利用が徹底されしっかり意識付けてきていたと思います。次年度も目標値に向けての活動を継続します。

## 《高山工場・高山第2工場の環境経営目標及び環境経営計画、その評価》

### 《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値 (総量)	参考評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2/h	0.886	0.925	82,643 ×
電力使用量	kWh/h	1.380	1.428	127,522 ×
ガソリン使用量	ℓ/h	0.011	0.011	997 ○
軽油使用量	ℓ/h	0.025	0.023	2,037 ○
灯油使用量	ℓ/h	0.037	0.045	3,981 ×
一般廃棄物排出量	kg/h	0.049	0.039	3,513 ○
紙使用量	枚/h	2.932	2.946	263,150 ×
産業廃棄物排出量	kg/h	0.015	0.016	1,470 ×
水使用量	m <sup>3</sup> /h	0.006	0.006	545 ○

### 《その他活動報告》

#### 1. 社会貢献活動

- ・会社周辺の側溝清掃実施。

#### 2. 内部監査

- ・問題ありません。

#### 3. 緊急事態対応訓練

- ・避難訓練の実施。
- ・防災ヘルメット購入。

### 《環境経営計画及び評価》

#### 1. 二酸化炭素排出量の削減

##### ①電力使用量の削減

###### <施策>

- ・エアコンの適切な温度設定。  
適切な設定方法の啓発。

###### <評価> 玉舎

- ・エアコンの温度設定や涼しい時間帯は窓を開けて室内の温度を調整したり、使わない機械の電源や照明を消して節電に取り組みました。

##### ②化石燃料(ガソリン、軽油、灯油)使用量の削減

###### <施策>

- ・エコドライブの継続。
- ・自社トラック便による不要な輸送手段、中間倉庫利用の削減。

###### <評価> 土木(貴)

- ・エコドライブの継続と自社トラックの効率的な利用により、化石燃料使用量を削減しました。  
冬期暖房での灯油使用が多くなりました。

#### 2. 廃棄物排出量の削減

##### ①一般廃棄物排出量の削減

###### <施策>

- ・印刷プレビュー活用によるミスプリント削減。
- ・個人廃棄物の削減。

###### <評価> 中屋→水間 (2月より交代)

- ・プレビュー表示の活用と個人廃棄物の削減により、一般廃棄物の排出量を効果的に減少させました。

##### ②産業廃棄物排出量の削減

###### <施策>

- ・破損パレット修繕による木くず削減。
- ・通い箱による納品で梱包材使用を削減。

###### <評価> 松巾

- ・破損パレット修復は多くは出来なかったが、運送会社から破損の少ないパレット回収が出来た。
- ・通い箱の運用も引き続き行なっています。

#### 3. 水使用量の削減

###### <施策>

- ・節水方法を呼びかけ意識向上を図る。

###### <評価> 和田

- ・水道の出っぱなしに対し注意を呼びかけ。  
又、蛇口の閉め忘れを減らすことが出来ました

#### 4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

###### <施策>

- ・品質改善活動による工程内不良削減。  
手直して発生するエネルギー、廃棄物を削減。

###### <評価> 安川

- ・品質改善活動を続けてまいりましたが、工程内不良の減少を達成することができませんでした。  
達成できるよう取り組みを強化してまいります。

## 5. グリーン購入

### <施策>

- ・消耗品購入時にエコマーク認定品を選定。



### <評価> 加藤

- ・今年度は発生時に履歴に有る物をすぐに購入するのではなく薬剤に関しては成分に着目し、より環境に優しい物へ変更することが出来て良かった。

### 《本年度総評及び次年度の計画》 環境事務局：木下 真紀

- ・冬期の暖房使用が影響し、灯油の使用量が多くなりました。また、残業により電気使用の効率が悪くなっていると考えられます。その他の項目については仕事量との対比では現状維持または減少傾向にあります。日常的な活動についても大きな問題は見られませんでした。引き続き活動を進めていきます。

## 《株弘進 全社の環境経営目標及び活動の評価》

### 《環境経営目標及び環境負荷実績》

項目	単位	目標値	実績値 (総量)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2/h	0.998	1.011	160,345 ×
電力使用量	kWh/h	1.422	1.437	228,899 ×
ガソリン使用量	ℓ/h	0.013	0.014	2,297 ×
軽油使用量	ℓ/h	0.083	0.076	12,163 ○
灯油使用量	ℓ/h	0.029	0.031	4,958 ×
一般廃棄物排出量	kg/h	0.043	0.037	5,962 ○
紙使用量	枚/h	3.204	3.039	484,257 ○
産業廃棄物排出量	kg/h	0.066	0.059	9,455 ○
水使用量	m <sup>3</sup> /h	0.006	0.005	861 ○

### 《環境関連教育》

#### 「管理者向け教育」

- ・フロン排出抑制法について
- ・集計報告の仕方について
- ・ハラスメント教育

#### 「従業員向け教育」

- ・地球温暖化対策やりサイクルの促進についてアンケート実施

### 《活動の評価》

#### 1. 二酸化炭素排出量の削減 ①電力使用量の削減 ②化石燃料使用量の削減

- ・環境経営目標を切り替えましたが概ね良好だと感じます。気候条件による冷暖房の変化、打ち合わせ等の出張によるガソリン使用については対応が難しいですが必要以上の消費をしないよう意識した活動が出来ている様に見られます。

#### 2. 廃棄物排出量の削減 ①一般廃棄物排出量の削減 ②産業廃棄物排出量の削減

- ・仕事量に対しての廃棄物量については概ね問題ないように見られます。分別もしっかり行なわれています。突発的に増加する事がありますので、その要因が不可避な物か確認し出来る限り削減することも課題になると考えられます。

#### 3. 水使用量の削減

- ・本社では来客対応での使用が主、工場では製品の使用に水を使用していない事から普段の手洗い等での使用が中心であり、日常的に節水に留意していると感じます。

#### 4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

- ・各部門でテーマを選定して取り組んでおり達成、未達成はあるものの通常業務と絡めた活動が出来ています。今後も引き続き取り組みをお願いします。

#### 5. グリーン購入

- ・現行可能な物はエコ商品に切り替えており、継続して使用またはより良い物への切り替えを進めています。これまで同様、環境に配慮した製品の優先使用をお願いします。

### 《本年度総評及び次年度の計画》 環境管理責任者：小森 俊和

- ・環境経営目標を作業時間ベースでの原単位評価に切り替えましたが初年度は概ね良好な結果となりました。今後の推移を確認して目標値の再設定を検討すると共に増加の要因を1つでも多く見つけられるように環境負荷の増減状況にも注意をしていきます。

## 8. 環境関連法規等の取りまとめ、遵守状況

改訂状況確認	2024/7/8	小森 俊和
遵守状況確認	2024/7/8	小森 俊和

対象となる法令	条項	確認内容（当社該当内容）	評価
廃棄物処理法  2025/6/1施行	第12条 第2項	産廃運搬までの保管場所（産業廃棄物保管基準） 60cm×60cm以上の掲示板設置	○
	第12条 第6項	委託基準に基づく産廃業者の選定 委託契約確認（契約書：5年間保管）	○
	第12条の3 第1,2,6項	産業廃棄物管理票の交付、保管（5年間） 運搬、処分の確認	○
	第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 （毎年4/1～6/30）	○
岐阜県廃棄物の適正処理等 に関する条例  2015/4/1施行	第18条 第1～3項	委託した処理業者の処理能力確認 （優良業者は免除）2023/10/23確認実施 不適正処理時の報告	○
相模原市廃棄物の減量化、 資源化及び適正処理等の 推進に関する条例  2020/10/1施行	第11条 第1項	減量化等計画書の提出 （毎年1回、市長に提出）	○
	第12条 第1項	廃棄物管理責任者の選任	○
	第24条 第1項	事業系一般廃棄物を生活環境の保全上支障が 生じないうちに収集・運搬・処分	○
騒音規制法・振動規制法  2022/6/17施行	第6条 第8条第1項	エアーコンプレッサー設置時の届出（7.5kw以上） 変更時の届出（新規設置、変更なし）	○
フロン排出抑制法  2025/6/1施行	第16条 第1項	エアコン簡易点検の実施 （1回/3ヶ月）	○
	第41条第1項 第43条第1～3項	廃棄時は第一種フロン類充回収業者への引き渡し、 書面交付、写しの保管（廃棄なし）	○

### 《環境にも影響のある法規等》

- ・電気事業法（電気保安協会による検査）

### 《その他努力義務を定めた主な環境関連法規等》

- ・環境基本法（事業に伴う環境負荷の低減の努力義務）
- ・循環型社会形成推進基本法（3Rの取組）
- ・グリーン購入法（環境負荷低減に資する製品・サービスの調達）
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）  
（設備について温室効果ガスの排出が少ない方法での使用。温室効果ガス排出量の見える化。）
- ・環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律  
（環境マネジメントシステム等による環境配慮の取組）

- ・環境関連法規等への違反はなく、また関係当局からの違反の指摘もありません。
- ・過去、訴訟もありません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し、指示の結果

- ・2024年10月4日、環境管理責任者より代表者に活動状況の報告を行い下記の様に評価、見直しの指示を頂きました。

### 《 前回の見直し指示に対する確認 》

・・・環境管理責任者：小森 俊和

#### 1. 環境経営目標の評価方法検討

- ・作業時間ベースでの原単位評価に変更する為、事務局への原単位評価への理解を深める。  
⇒前年度実績をベースに作業時間ベースでの原単位評価をスタートさせました。  
初年度と言う事で戸惑う部分もありましたが次年度までの変化状況を確認しつつ環境経営会議等を通じて評価や目標作成について検討を行なってまいります。

### 《 環境管理責任者による活動の報告、評価 》

・・・環境管理責任者：小森 俊和

#### 1. 環境経営目標について

##### (1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・外的要因については対応が難しいですが、日常の管理については意識が高く、維持、削減に取り組んでいます。相模工場の移転計画、高山工場の修繕計画があり、冷暖房については効率向上を期待しています。

##### (2) 廃棄物排出量の削減

- ・分別については問題なく実施されています。主に梱包など出荷に関する廃棄削減に取り組んでおり良い傾向だと思います。特に高山工場では出荷用のパレットの破損が多いと廃棄物が増加する傾向があるため、評価方法も検討の必要が出てくると考えています。

##### (3) 総排水量の削減

- ・本社での来客による変動以外は大きな変動要素がありません。  
日常の節水については問題なく実施されています。

##### (4) 自らが生産、販売、提供するサービスに関する項目

- ・各部門でテーマを決めて取り組んでいます。継続していく事でEA21のみで無く改善活動に活かして貰える事を期待しています。

#### 2. 環境経営計画の実施及び運用結果

- ・実施については問題ありませんが早めの実施が出来ておらず計画が近づいた時に生産が増加している等で予定が遅れるといった状況も出ています。  
リモート会議事にフォローはしておりますが今後の課題となります。

#### 3. 環境関連法規等の遵守状況

- ・遵守状況に特に問題はありません。  
確認についても早期に実施する事が出来ました。

#### 4. 外部からの環境に関する苦情や要望等

- ・外部からの苦情等は特にありません。社会貢献活動も引き続き実施していきます。

#### 5. 総評

- ・作業時間ベースの原単位評価は今のところ上手く行っていると感じていますが2024年度の動向も見た上で2025年度より目標の再設定を行ないます。  
・各部門とも日常の維持削減活動については問題なく実施されています。

## 《代表者による活動の評価》

・・・EA21代表者：田屋 健仁

### 1. 環境経営目標について

- ・目標値の設定が変わりましたが現状では問題ない様です。引き続き動向を見て必要な修正を行なって下さい。

### 2. 環境経営計画の実施及び運用結果

- ・実施については問題ないですが実施時期については計画時点での早めの設定も含めて滞りなく出来るようフォローをお願いします。

### 3. 環境関連法規等の遵守状況

- ・問題なく実施が確認できているとの事です。  
引き続き法令遵守に努めて下さい。

### 4. 外部からの環境に関する苦情や要望等

- ・社会貢献活動も問題なく継続され、苦情等もありません。  
引き続き継続をお願いします。

**\* 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制に見直しの必要はありません。**

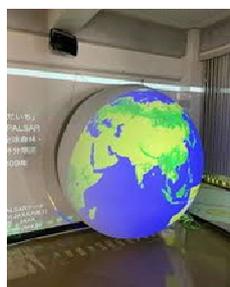
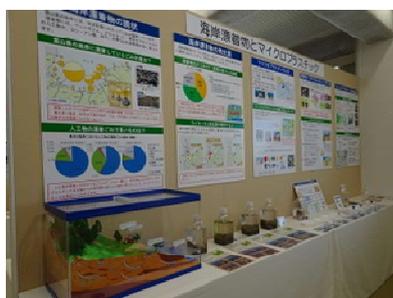
## 《代表者による見直しの指示》

### 1. 緊急時の手順改定について

- ・災害等の緊急事態対応手順ですが、これまでは避難にのみ着目しておりました。  
訓練報告でも挙がっておりましたが発生（発見）から避難判断、開始までのプロセスを含めた手順への改定を検討して下さい。

## 10. 活動紹介

### 「環境楽習室エコ・ラボとやま」に行ってきました



- ・環境問題について、展示や実験・体験、映像紹介を通じ「見て」・「ふれて」・「学ぶ」施設「環境楽習室エコ・ラボとやま」を見学してきました。
- ・改めて環境問題について学び、今後の活動に活かして行ければと思います。  
(環境管理責任者：小森)

### 避難訓練を実施しました



- ・災害に備え、避難訓練を実施しました。  
これまでは火災を想定した訓練でしたが地震に備えた訓練を実施しました。
- ・避難手順の改定と共に火災、地震、水害など様々な場合に対応できるように、訓練と検討を続けていきます。  
(写真は高山、本社での様子)